

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(令和元年度分)

施設名 松江歴史館・松江ホーランエンヤ伝承館
 指定管理者 株式会社山陰中央新報社
 担当課 松江歴史館
 指定期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日

1. 総合評価

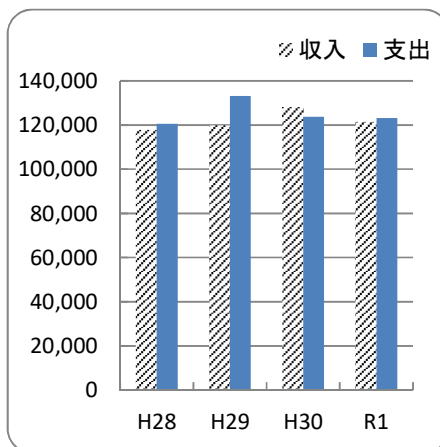
市	B	【優れていると評価した点】 実施している来館者アンケートに職員の対応についての項目がないため、数値的な評価は判断できないものの、自由記述等で「受付の方が丁寧に対応してくれた」「職員が親切だった」「ガイドが丁寧で充実した時間になった」等、お客様から好評を得ている。 【評価できない、または改善すべき点】 広報媒体に偏りがあり、特に自社新聞にほぼ限定されているため、他社新聞や雑誌等の幅広い媒体への広報を期待したい。また、月報等の松江市への報告に遅延がみられ、不備のための差し替えも多い。
	A	【優れていると評価した点】 本年度は職員を1人増やして事務所を6人体制にし、経理専従を置くなど整備。事務の迅速処理を心掛けた。広報も広告出稿の予算が確保できない中で、本紙の紙面137段以上(10ページ相当)を提供、企画展に対応した記事特集、イベントなどのニュース化も図った。接遇面もクレームはほとんどなく、アンケートでは良い評価をもらっている。体制を整えたことで職員はそれぞれ自覚を持って職にあたっている。 【評価できない、または改善すべき点】 収支については赤字であるが、問題は電気料金である。指定管理者として節電には努力しているが、中国電力も「うまくやっている」との評価で、24時間稼働する収蔵庫、機械室などの度合いが大きく、打つ手がない。電気料金が当初の積算通りなら他の費目については概ね計画に沿ったものになる。月別報告書の提出期限については、本社経理の収支確定が毎月10日前後であり、本社による入出金もあって無視できず、間に合わない場合もある。開館して10年経過し設備機器の老朽化が目立ってきており、額も大きいので細かい更新、修繕計画を立てる必要がある。

2. 施設利用の増減について

総括	【松江歴史館】
	入館者は183,533人(前年度比91.7%)、観覧者数は54,548人(前年度比88.4%)であり、前年度を下回った。新型コロナウイルスの影響で1月から来館者が減少傾向となり、3月は感染拡大防止のためイベント等を全て中止したことが原因と思われる。
	【松江ホーランエンヤ伝承館】
	5月のホーランエンヤ斎行による関心の高まりにより、入館者は14,817人(前年度比144.9%)となった。指定管理者自主事業企画展「ホーランエンヤ速報展」もあり、入館者が前年度同月比を上回る月が続いていたが、11月以降からは減少傾向となっている。

(1) 収支状況の推移

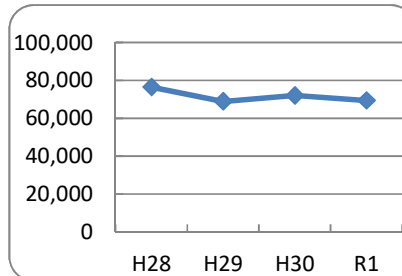
項目\年度		H28	H29	H30	R1
施設の収支	収入	117,805	119,889	127,951	121,379
	うち指定管理料	79,013	77,757	77,757	78,197
	うち利用料	0	0	0	0
	支出	120,690	133,159	123,765	123,110
	差引	△ 2,885	△ 13,270	4,186	△ 1,731
上記以外の市の収入、支出					
市の収支	収入(使用料)	13,122	12,790	16,263	14,487
	支出	20,771	22,799	21,631	19,743
	うち市の修繕費	864	12,676	4,676	4,991



(2) 利用者の推移

(人)

H28	H29	H30	R1
76,457	68,848	71,920	69,365



【参考】産出指標(アウトプット)・成果指標(アウトカム)の達成状況

指定管理者が管理する公の施設は、市の施策を実現するために設置されたものですが、その設置目的の多くは抽象的なものとなっています。この設置目的を効果的に実現するためには、市が目標(指標)を具体的に示し、指定管理者と共有した上で施設の管理運営を行うことが大切です。

さらに、目標(指標)がどれだけ達成されたかを客観的に評価するため、指定管理者の活動の結果(アウトプット)や活動からもたらされた成果(アウトカム)を数値化し、市民の皆さんへ公表します。

- 〔 A 基準値 : 指定管理者募集の際に、市が提示した指標の値
- 〔 B 目標値 : 市が提示した基準値に対し、申請時に指定管理者が提案した値
- 〔 C 実績値 : 実績の値

分類	指標	A 基準値	B 目標値	C 実績値	目標に対する 達成度 C/B	基準に対する 達成度 C/A
アウトプット	歴史館入館者数(年間)	200,000	200,000	183,533	91.8%	91.8%
	同観覧者数(同)	70,000	70,000	54,548	77.9%	77.9%
	伝承館入館者数(同)	14,000	14,000	14,817	105.8%	105.8%
	歴史館観覧料収入(同)	19,000,000	19,000,000	12,169,530	64.1%	64.1%
	伝承館入館料収入(同)	200,000	200,000	680,546	340.3%	340.3%
	モニタリング(満足度)	70	70	99	141.4%	141.4%
アウトカム	モニタリングでの肯定的回答割合(%)			99		
				達成度 平均	136.9%	136.9%

	指定管理者	市
達成度に対する意見	【達成度に寄与した・有効だった取組みの内容、次期に向けた課題】 入館、観覧者数は1月から新型コロナウイルスの影響で団体のキャンセル、自粛が相次ぎ減少。伝承館は、ホーランエンヤの本番で、観光客、市民の関心の高まりを反映して増加した。来館のきっかけはアンケートを見るとチラシ、ポスターが約3割を占め、次いでネット、パンフ、新聞、テレビが横並びで、ポスター、チラシの重要度を再認識。時間、手間はかかるが対面による配布も続けていく。	【達成度の原因・分析】 新型コロナウイルスの影響もあり、歴史館は入館・観覧者数、観覧料収入が昨年度よりも減少し、目標値を達成することができなかった。なお、伝承館については5月のホーランエンヤ斎行による関心の高まりから、入館者数及び入館料収入ともに目標値を達成した。 新型コロナウイルスの影響は今後も続くと思われるが、引き続き広報等を通じて目標値の達成に繋げたい。

(3)利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
歴史館 来館者 713件	①肯定的な意見 706件(99%) ②上記以外の意見 7件(1%)	①良い(抜粋) 館内が綺麗で好印象。受付の方が丁寧な対応で楽しかった。 ②苦情(抜粋) 大声で会話している他の観覧者に注意してほしい。 ③要望(抜粋) あまり変わり映えしないのももう少し活気が欲しい。

(4)住民サービス向上の事例

ホーランエンヤ斎行に合わせ、渡御祭(5月18日)及び還御祭(5月26日)に伝承館の無料開放を実施した。

3. 自主事業

総括	喫茶及びミュージアムショップ事業が好評である。 自主事業企画展として「ホーランエンヤ速報展」「近代スポーツを支えた郷土の2人とアスリートたち～岸清一、鬼塚喜八郎の想い～」を実施。どちらも観覧無料で実施し、それぞれ観覧者は5,444人、3,199人となった。
実施状況	喫茶「きはる」、ミュージアムショップ「縁雫」 自主事業企画展「ホーランエンヤ速報展」「近代スポーツを支えた郷土の2人とアスリートたち～岸清一、鬼塚喜八郎の想い～」 各種イベント「漆器で江戸料理を食べよう」「旅行企画 歴史ツアー」「親子でお茶室体験」等

4. 特記事項

特になし。

5. 今年度の目標・課題

魅力ある企画展や幅広い広報媒体による広報活動に努め、入館者及び観覧者数の増加を図る。
期限内の報告書の提出を厳守し、引き続き市との協議を通して計画的に施設の修繕等を実施していく。